

良質、良食味の山間高冷地向け 水稻新奨励品種「ゆめさやか」

福島県農業試験場 冷害試験地

平成10～14年度水稻奨励品種決定調査成績書

分類コード 01-01-01000000

部門名 水稻－水稻－品種

担当者 矢島 豊・新妻和敏

I 新技術の解説

1 要旨

- (1) 水稻うるち品種「ゆめさやか」を新たに奨励品種に採用する。
- (2) 「ゆめさやか」は、1992年に山形県立農業試験場庄内支場において、山形40号を母、奥羽341号を父として育成された品種である。
- (3) 出穂期は基準品種の「まいひめ」並であるが、成熟期はやや早く、登熟速度が速い(表1)。
- (4) 食味は「まいひめ」に優り、「あきたこまち」並である(表2)。
- (5) 玄米品質は光沢が良く、「まいひめ」に優る(表1)。
- (6) 玄米千粒重は「まいひめ」よりやや軽いが、収量は「まいひめ」並である(表1)。
- (7) いもち病の発生は「まいひめ」並からやや少なく、いもち病に対する耐病性はやや優る。

2 期待される効果

山間高冷地への「ゆめさやか」の作付けにより、産米の食味の改善および玄米品質の向上が図られる。

3 適用範囲

会津山間地域(500～650m)および阿武隈山間地域(400～500m)を対象とし、普及見込み面積は1200haである(図1)。

4 普及上の留意点

- (1) 穂発芽性が“中”なので適期刈り取りに努め、自然乾燥中の降雨による品質低下に注意する。
- (2) 稈長がやや長いので、倒伏を助長する管理は避ける。
- (3) 生育期間中の葉色が淡いので、過剰な追肥を行わない。

II 具体的データ等

表1 ゆめさやかの生育および収量・品質

地域	試験場所	標高 (m)	品 種 名	出穂期	成熟期	成 熟 期		倒伏 (0-5)	いもち病		玄米重 (kg/a)	同左 比率 (%)	千粒重 (g)	品質 (1-9)
				(月.日)	(月.日)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)		葉	穂				
会津	猪苗代	530	ゆめさやか	8.2	9.12	83.3	492	0.5	0.1	0.3	71.1	100	21.5	2.9
			まいひめ	8.1	9.16	76.4	463	0.0	0.1	0.4	71.3		22.2	4.1
	田島	600	ゆめさやか	7.30	9.11	76.2	439	1.0	0.0	0.0	55.1	93	22.3	4.5
			まいひめ	7.30	9.14	70.7	424	1.0	0.3	0.3	59.5		22.1	6.5
	小野川	750	ゆめさやか	8.5	9.15	76.3	472	0.0	0.0	0.0	68.3	109	21.8	3.5
			まいひめ	8.7	9.18	67.0	437	0.0	0.0	0.0	62.8		21.6	4.5
中通り	飯館	430	ゆめさやか	7.29	9.11	86.6	498	1.3	0.2	0.2	63.8	98	22.0	7.5
			まいひめ	7.30	9.16	77.9	459	0.4	0.7	0.3	65.4		22.3	6.5
	都路	420	ゆめさやか	7.27	9.8	78.1	398	0.0	0.8	1.2	58.4	104	22.6	4.5
			まいひめ	7.28	9.8	72.6	381	0.0	1.0	2.3	56.4		22.8	4.5

*試験場所は、猪苗代が農試冷害試験地経場(1998年～2002年)、その他が奨励品種決定調査現地調査経場(2000年～2002年)である。

*品質は、仙台食糧事務所による9段階評価(1: 上上～9: 下下)である。

a

表2 ゆめさやかの食味

品 種 名	総合	外観	香り	味	粘り	硬さ
ゆめさやか	0.06	0.31	0.00	0.13	-0.06	-0.06
まいひめ	-0.44	-0.63 **	-0.38 **	-0.31	-0.13	0.56 **
ひとめぼれ	0.25	0.06	0.06	0.13	0.25	-0.25 *

*基準品種: あきたこまち・供試材料: 冷害試験地2002年産米

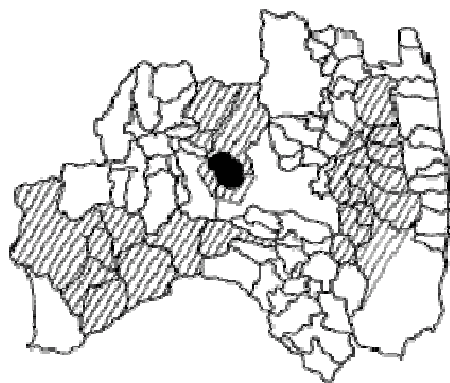


図1 ゆめさやかの普及見込み地帯(斜線部)

Ⅲ その他

1 執筆者

矢島 豊・佐藤 誠

2 主な参考文献・資料

平成14年度東北農業研究成果情報